

オフセットサイディング「サンドグリッド Type-A/Z」が ウッドデザイン賞 2021を受賞

ニチハ株式会社(本社:名古屋市、社長:吉岡成充)は、この度、ウッドデザイン賞 2021(主催:ウッドデザイン賞運営事務局 林野庁補助事業)において、オフセットサイディング「サンドグリッド Type-A/Z」が同賞を受賞しました。

国産木材チップとセメント系原料を組み合わせたニチハ独自の窯業系外壁材「オフセットサイディング」で上市した「サンドグリッド Type-A/Z」の外壁デザインは、流行に左右されず中高層建築物で根強く採用されている「50二丁タイル」を再現。使い勝手の良いタイルデザインとすることで、S/RC 造の中高層建築物の木質化に簡便に取り組むことが可能となります。

「サンドグリッド Type-A/Z」は、18mm 厚ならではの重厚な風合いと、整然と並ぶタイルの風格が奥行きのある佇まいを演出します。都市における、S造やRC造の中高層建築物外装の木質化を実現するとともに、サイディングならではの意匠性の高さが新たな付加価値を生み出し、高耐候性による長期スパンのメンテナンスの優位性に加え、建築ファサードの燃えひろがり試験『AS5113』に合格した、耐火性能に優れた外壁材として、中高層分野における外装の選択肢を一気に広げます。

使用する木材の100%が国産材であるオフセットサイディングは、外壁材として採用するだけで、その建物(外壁)が炭素の貯蔵庫となることから、カーボンニュートラルに大きく寄与します。この考え方は、COP17で国際的に認められたHWPルールでもあり、再注目され始めています。脱炭素に向けた木質化ニーズに対応出来る外壁材として、主力市場である低層戸建住宅市場での採用のみならず、非住宅分野をはじめ中高層建築等への需要拡大が、都市の木質化、ひいてはカーボンニュートラルへの大きな一手になると期待されています。

弊社では、2015 年「カーボンオフセットサイディング」『Fu-ge』、2016 年「COOL」、2017 年『官・民・民による地域型 CSV エコシステム【地方創生×国産材利用】』※他団体との共同受賞、2018 年「オフセットサイディング『プレミアムシリーズ』」、2019 年「都市を木質化する外壁カバー工法 MARC SYSTEM(マークシステム)」に続き、6度目の受賞となります。今後もウッドデザイン賞の主旨に賛同し、国産材の利用推進に努めてまいります。



**JAPAN WOOD DESIGN
 AWARD 2021**

- 受賞作品： オフセットサイディング
 「サンドグリッド Type-A/Z」
- 受賞部門： ソーシャルデザイン部門
 建材・部材分野

